

## 事例 31 レクリエーションの森の活性化に向けた取組

(九州森林管理局 屋久島森林生態系保全センター)



- 鹿児島県 熊毛（くまげ）郡  
屋久島町（やくしまちょう）  
宮之浦嶽（みやのうらだけ） 国有林
- 白谷雲水峡のさつき吊り橋

世界自然遺産の一部でもある屋久島自然休養林を地域の観光資源として活用していくため、九州森林管理局屋久島森林生態系保全センターでは、屋久島町や屋久島観光協会等の地域関係者からなる屋久島レクリエーションの森保護管理協議会と連携して、平成 28 年度に「屋久島自然休養林活性化検討会」を立ち上げ、同自然休養林の魅力向上に向けて取り組んでいます。

これまで、同検討会では、同自然休養林内の荒川地区（通称：ヤクスギランド）において、訪日外国人旅行者の利便性向上のための多言語看板の整備、屋久杉の魅力を楽しめる新たなコースとして「天文の森コース」の設定、ガイドの育成等を行ってきました。

また、令和元年度には、管理棟の建替えのほか、コース内の吊り橋の補修、点検等を通じて利用者の安全確保に努めました。このほか、屋久島レクリエーションの森のサポーターである企業の社員や一般のボランティアの方等、延べ 102 名により、木道や手すり等のコケ落としや清掃活動を行っていただきました。今後も関係者と協力して同自然休養林の魅力向上に努めていくこととしています。